

理科映像教材販売事業準備調査 (BOPビジネス連携促進)

BOP Business Profile

国・地域: インドネシア ジャカルタ市およびその周辺地域

企業: 株式会社NHKエデュケーショナル
公共放送のミッションの一つである「教育」を支える番組制作企業として、Eテレを中心に年間1万本を超える番組制作を行い、経営方針である「いつでも、どこでも、だれでも“学びたい”に応えます」を実現するため、幅広く多様な映像ソフトや教育コンテンツを国内外で展開している。

ビジネス概要: ジャカルタ近郊において、小学生向けの理科映像教材を現地の教育関係者と共同開発・販売し、教員向けワークショップと組み合わせて学校向けに販売することで、BOP層の子供の学びの質向上を目指す。



現地が抱える開発課題

インドネシアの教育現場では、詰め込み教育が主流となっており、人口の8割を占めるBOP層の子供たちは塾などに通えず、**学びの質の課題に直面**しており、OECD等の調査結果でも子供の学習理解度は**最下位グループ**に属している。



企業が有するソリューション

思考力育成のための**教材製作ノウハウ**と**映像教材の蓄積**を活用し、現地の研究機関等と、現地のニーズとカリキュラムに基づいた**映像コンテンツの共同開発**を行う。また、現地NGOと連携し教員向けワークショップを実施した上で、**高品質かつBOP層の子供たちが通う小学校でも購入可能な価格設定の教材**を開発する。

ビジネスを通じた課題解決アプローチ



BOPの子供たちが多く通う公立小学校を対象に、**主体的な学びを促す映像コンテンツを補助教材として導入**すると共に、教員を対象とした**授業方法に関するワークショップ**を現地NGOと共同で実施することで、**教員の質向上及び子供の学びの質向上に貢献**する。小学校への展開を促進するため、BOP層の子供たちが通う小学校でも購入可能な価格設定による教材や、映像機器が無い学校向けのUSBメモリやコンテンツ搭載プロジェクターを提供するとともに、個人向けにはスマートフォンでの視聴によるプロモーションを展開する。加えて、MOP(中所得)層・TOP(高所得)層を主な対象とし、企業や現地出版社を代理店とする販売や、塾へのライセンス販売等、**複数の販売チャネルを確保することで採算性の確保**を目指す。